

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	菌血症に関する抗菌薬早期効果判定モデル作成と多角的解析研究：多施設共同後ろ向きコホート研究
研究責任者	当院：総合診療内科 本田優希 主研究機関：北海道大学 環境健康科学研究教育センター 岩田啓芳
研究実施体制	主研究機関及び研究責任者 北海道大学 環境健康科学研究教育センター 岩田啓芳
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2026年3月31日
対象者	2018年1月1日から2022年3月31日までに、血液培養が陽性でかつ菌血症に罹患し、入院加療を受けた患者様
研究の意義・目的	菌血症を罹患された患者さんにおける抗菌薬の効果や余命などに与える因子など、菌血症に関する様々な臨床的影響を調べます。
研究の方法	診療録(カルテ)を使用し、対象者の身長・体重・基礎疾患などの入院時の基本情報から、使用した抗菌薬や原因細菌など入院時の医学的な状態さらには、入院後の治療経過や退院に至るまでの経過・転帰に関する情報を解析します。 収集したデータは、パスワード機能を用いた外部記録デバイス(USBなど)を用いて保存・移動し、北海道大学並びに共同研究病院で解析予定です。
個人情報の取扱い	対象者の情報は、個人情報とは関係のない符号または番号を付して匿名化します。論文作成時、学会発表時には個人が特定できる情報は一切用いません。また、同意の範囲外において情報の利用を行うことはありません。対応表は当院の研究責任者が保管し、研究機関の間で対応表の授受は行いません。 データは二次利用する可能性があり、その際には当院のホームページもしくは院内提示版等で告知を行います。 取り扱う情報は、厳密に管理し、共同研究機関外に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 総合診療内科 本田優希

